埼玉経済

広がる和食 海外18万店

10年で3倍 中国が最多

海外で日本食レストランが増えている。農林水産省によると、2023年は最多の中国をはじめ全体で18万7千店と、21年の前回調査に比べ約2割増加。10年前の13年（5万5千店）からは3倍以上に広がった。おいしくて健康的な和食の人気に加え、外食チェーンの海外進出が背景にあり、中南米では日本アニメの人気も一役買っている。

地域別の日本食レストラン数（2023年）

	店舗数
アジア	12万2000（約2割⇗）
欧州	1万6400（約2割⇗）
中南米	1万2900（約2倍⇗）
北米	2万8600（約1割↘）
ロシア	3200（ほぼ横ばい⇨）
大洋州（オーストラリアなど）	2500（ほぼ横ばい⇨）
中東	1300（ほぼ横ばい⇨）
アフリカ	700（ほぼ横ばい⇨）
海外全体	18万7000（約2割⇗）

※農林水産省まとめ。（　）内は前回21年調査との比較。概数のため合計は一致しない

地域別では、北米が新型コロナウイルスの影響を受け、21年比で約1割減の2万8600店に後退したものの、アジアは12万2千店、欧州は1万6400店でいずれも約2割の増加となった。レストランを通じて日本食の魅力が世界に浸透し、日本の農水産物や食材の輸出拡大を後押しする効果への期待も高まる。

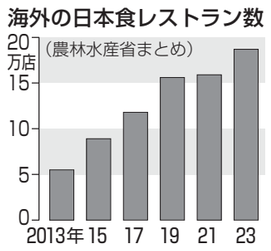
海外に活路を求める外食大手の動きも進む。ロイヤルホールディングス傘下の天丼チェーン「天丼てんや」は13年、タイに進出した。現在は中国、香港、フィリピン、シンガポールを加えた5カ国・地域に計30店舗余りを展開する。

海外では天ぷらのやわらかな衣と甘辛いタレが好評だ。タイでは現地の定番料理に欠かせないガパオソースによる味付けや、ナマズの天ぷらといった地元の味覚に合わせたメニューも提供する。デパートのレストラン区域に立地する店は女性やカップルなどの客でにぎわい「日本仕込みの店舗運営を学ぼうと求人への応募も多い」（同社担当者）という。

中南米は背景を含め独特だ。日本食レストランは1万2900店と21年比でほぼ倍増。メキシコやアルゼンチンで「ONE PIECE（ワンピース）」や「鬼滅の刃（やいば）」などのアニメが人気で、日本食の需要拡大につながった可能性がある。

国別の店舗数は中国が7万8760店と最も多く、米国が2万6040店、韓国が1万8210店で続いた。

海外の日本食レストラン数



日本食レストラン　一般的に日本料理を提供する飲食店のこと。農林水産省は外務省と協力して海外の店舗数を隔年で調査。①現地のウェブサイトやガイドブックなどで「日本食レストラン」として紹介されている②現地で「日本食レストラン協会」といった団体が組織され、これに参加している③現地の日本人会などで「日本食レストラン」として扱われている―といった条件に該当する店を集計している。2023年分は6～7月に調査した。

ヤオコー 純利益27%増

第2四半期決算 二極化対応で好調

食品スーパーのヤオコー（川越市）が13日発表した2023年4～9月期連結決算の純利益は前年同期比27・1%増の136億8000万円だった。売上高に当たる営業収益は9・0%増の3049億5700万円、営業利益は21・8%増の194億4700万円で大幅な増収増益を記録した。

生鮮や食料、日用品を中心に若年層や子育て世代に支持される低価格帯商品の提案で客数・客単価ともに伸長。同時にカテゴリーの専門性を高めてさまざまな利用シーンや独自メニューの提案で、中高年層にも支持される〝二極化対応〟が進んだことを背景に既存店の売上高（単体）が7・0%増と堅調に推移し、業績好調の大きな要因となった。

会見した川野澄人社長は「今後も地域の中心で開かれている市場のように食品の鮮度や総菜の出来立て感、売り場のにぎわい創出など魅力ある店舗づくりに努めたい」と意欲を見せた。また、人工知能（AI）を活用し、需要予測型自動発注システムによる生産性向上やネットスーパーの拡大などの戦略を掲げた。

24年3月期通期の連結純利益予想（前期比1・0%増の160億円）は約85%進捗しているものの、世界的な金融引き締めなど景気の下押しリスクを加味し、従来予想を据え置いた。（足立英樹）

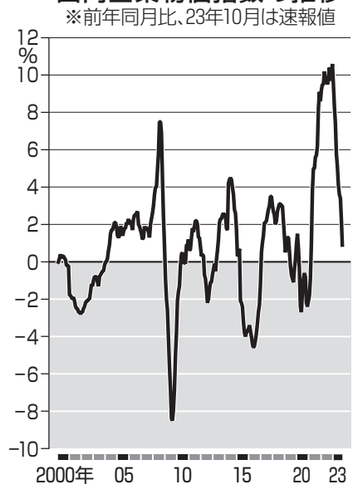
10月企業物価上昇 0.8%、伸び率縮小

日銀が13日発表した10月の国内企業物価指数（2020年平均＝100、速報）は前年同月比0・8%上昇の119・1だった。伸び率は9月の2・2%から縮小し、10カ月連続で鈍化した。伸び率が1%を割るのは2年8カ月ぶり。

飲食料品は5%近い値上がりが続いたが、ガソリンなど石油・石炭製品の値上がり幅が縮小。電気・都市ガス代などは下がった。

国内企業物価指数の推移

※前年同月比、23年10月は速報値



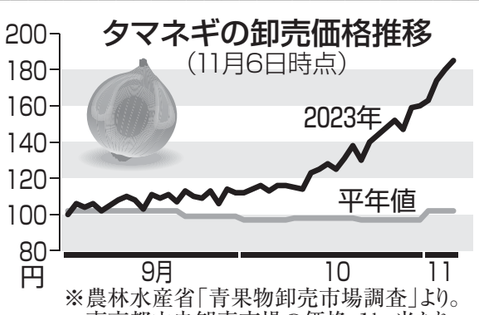
海外経済の減速に伴う国際商品市況の下落や、政府の燃料油補助金の拡充が伸び率の鈍化に寄与した。日銀の担当者は「商品市況は全体的に下がっているが、原油価格は上昇しており、今後の企業物価に与える影響を注視したい」と話した。

タマネギ価格 倍近くに

11月、猛暑で北海道産不作

タマネギの卸売価格推移

（11月6日時点）



※農林水産省「青果物卸売市場調査」より。東京都中央卸売市場の価格、1kg当たり

カレーや肉じゃが、サラダなど食卓に欠かせないタマネギの11月の価格が全国的に高くなりそうだ。主産地の北海道で、今夏の猛暑の影響により不作となったことが要因とみられる。東京都中央卸売市場では11月上旬の卸売価格が平年と比べ2倍近くになっており、野菜価格の高騰による家計への影響は続きそうだ。

農林水産省によると、北海道で8月から9月の高温影響で、一部で品質が低下する被害が出たほか、小玉傾向となっているという。東京都中央卸売市場でのタマネギ1キロ当たりの卸売価格は9月1日時点で100円だったが、11月6日時点で185円と平年の2倍近くまで上昇した。

農水省によると、11月は例年、北海道産のシェアが全国的に高く、影響が大きいという。タマネギの2021年の産出額は、北海道が706億円で首位。2位が兵庫県で105億円、3位は佐賀県で72億円だった。

東京都新宿区の八百屋の店頭では11月6日、北海道産タマネギ1個が51円で並んでいた。北海道産は小ぶりなものも多く、店長は「今並んでいるのは少し前の仕入れなので、この次に並ぶものは値上がりする。しばらくしたら（価格は）倍くらいになるかもしれない」と話している。

11月はタマネギに加え、一部地域では高温影響などによりニンジンやネギの出荷量も減り、卸売価格が平年を上回る見通しだ。

決算

▽**県内上場企業4～9月期決算**（売上高、営業利益、経常利益、純利益の順。かっこ内前年同期比）

◇**エフテック**＝久喜市、輸送用機器、連結（7日）13393億3300万円（14・9%増）、△12億9000万円（―）、△9億1500万円（―）、△5億1600万円（―）

◇**サンケン電気**＝新座市、電気機器、連結（7日）1215億5000万円（14・7%増）、171億5800万円（109・3%増）、167億4500万円（99・3%増）、44億4800万円（50・6%増）

◇**秩父鉄道**＝熊谷市、鉄道・バス、連結（9日）24億1700万円（5・4%増）、3200万円（―）、4300万円（―）、2億3400万円（―）

◇**朝日ラバー**＝さいたま市大宮区、ゴム、連結（9日）33億5900万円（6・1%減）、1100万円（91・4%減）、3500万円（75・4%減）、5500万円（51・0%減）

◇**ツツミ**＝蕨市、その他製品、単体（9日）90億6400万円（7・4%増）、4億7400万円（0・4%増）、5億1400万円（1・2%減）、3億3000万円（2・3%減）

◇**バナーズ**＝熊谷市、小売、連結（9日）20億3700万円（0・4%増）、1億円（30・5%増）、8800万円（27・5%増）、6600万円（19・1%増）

◇**サイボー**＝川口市、繊維、連結（9日）56億1500万円（8・5%増）、5億7000万円（11・6%増）、7億2600万円（36・9%増）、5億2200万円（81・1%増）

◇**NITTOKU**＝さいたま市大宮区、機械、連結（10日）131億6200万円（15・4%減）、16億6200万円（25・2%増）、17億1100万円（21・6%増）、11億300万円（18・6%増）

◇**大泉製作所**＝狭山市、電気機器、連結（10日）56億9700万円（8・6%減）、△2億3700万円（―）、△1億4500万円（―）、△1億6300万円（―）

▽同1～9月期決算

◇**新報国マテリアル**＝川越市、鉄鋼、単体（9日）47億3200万円（1・6%減）、4億5700万円（17・0%減）、4億7200万円（15・7%減）、3億5600万円（9・5%減）

淑徳大学発 ミネルヴァの梟（ふくろう）

▶3◀

現地をして語らしめよ

高木 亨 教授 地域創生学部

「現地をして語らしめよ」。その場所（現場）に足を運び、自分の目で見て、感じ、聴き、そして考える。フィールドワークを基本とする地理学の考え方である。

この夏、5年ぶりに福島県浜通りの原子力災害元強制避難地域を訪問した。震災前から福島県とは関わり合いがあり、被災後の復興支援研究に取り組んできたが、コロナもあり訪問できずにいた。5年ぶりの被災地域は、もともとの地域的背景、帰還時期、放射性物質汚染状況と除染の進展等の差異により、住民帰還を含め社会機能の復旧状況に大きな違いが見られた。被災地域から遠く離れると被災状況や復旧・復興状況は一様に感じてしまう。しかし、被災地域の状況は決して一様ではない。ましてや復旧・復興の状況はバラバラである。こうした視点は現地を見ることで「肌感覚」として理解できる。遠くにいたのでは理解しにくいのである。

また、そこには日々の暮らしを営みつつ、さまざまな取り組みに挑戦している人たちがいる。暮らしや活動について話を伺うことで、さらに理解が深まる。加えて原子力災害にまつわる「割り切れない気持ち」を感じ取る。この福島にいる人たちの「割り切れない気持ち」を県外の多くの人は理解していない。そこをおもんぱかるのも重要な視点である。そして、これらの災害は「国策」として進められた原子力政策の一つの結果であることを忘れてはならない。

「国策」にまつわる話をもう一つ。80年以上前に母村を分かち、遠く中国東北部（旧満洲）に入り、敗戦後命懸けで帰国した人たちが住む再入植地に私は住んでいる。その旧開拓団員や子孫と共に、彼らが入植した旧満州の地を2019年に訪れた。そこは、吉林にほど近い肥沃（ひよく）で恵まれた土地であった。「神社山」と称された高台から眺める旧開拓地は、川が流れ起伏に富んだ広大な土地であった。狭（きょ）隘（あい）な信州の地からやって来た彼らにとって、ユートピアであったであろう。彼らの心境に思いをはせることができた。

開拓団には5集落あり、現在もほぼ同じ地割りであった。このため、生活の姿を一部よみがえらせることができた。現在の各集落は、収入の差からか、道路の舗装や家の建替、農作業機械の近代化など、それぞれの特徴が見られた。現在そこに住む人々は旧満洲を知らない方ばかりであったが、さきやかな交流の場を持つことができた。

とはいえ、「国策」満蒙開拓は、現地の人々が拓いた土地や住居を、関東軍を背景に二束三文で買い取り、彼らを追い出した事実がある。当然「侵略者」としての視点は欠かせない。旧開拓団員たちは戦後「友好団」として現地を訪れ、過去に対して謝罪し歴史を見つめ直していた。この時の訪問団の名称も「友好団」であった。

ともに「国策」に翻弄（ほんろう）された福島と満蒙開拓を取り上げた。現地を訪れることで感じた感覚を大切にし、知ってしまった者・見てきた者として、次に何ができ何を伝えていくか、そんな視点を大事にしていきたい。

たかぎ・あきら　1970年東京都生まれ。地理学者。立正大学大学院文学研究科地理学専攻博士後期課程単位取得。博士（地理学）。専門は人文地理学・災害復興研究。各地の食文化を愛する。自宅が満蒙開拓引揚集落にあり、その歴史に興味を持つ。主著は「福島復興学Ⅱ」（共著）。

TOKYO MARKET REPORT

●株　式

◆東証小幅反発、17円高　午後は一進一退　13日の東京株式市場の日経平均株価（225種）は小幅反発した。終値は前週末比17円00銭高の3万2585円11銭。前週末の米株高を支えに買い注文が入った。ただ午後にはいったん利益を確定する売り注文も広がり、平均株価は一進一退の展開となった。東証株価指数（TOPIX）は0.10ポイント安の2336.62。出来高は約14億7900万株。前週末の米国市場は、主要な株価指数がそろって上昇した。13日の東京市場もこの流れを引き継ぎ、朝方から平均株価への影響が大きい半導体関連株を中心に幅広い銘柄が買われ、一時300円超上昇した。その後は上げ幅を縮小し、午後には下落に転じる場面もあった。前週末に発表した決算を受けて、大きく値下がりする銘柄が目立った。

東京市場（13日）

◆円相場（午後5時）銀行間
対ドル　151.73－151.75円（0.35円安）
対ユーロ　162.24－162.28円（0.83円安）

◆株式（終値）
日経平均　3万2585.11円（17.00円高）
TOPIX　2336.62（0.10ポイント安）

◆長期金利（新発10年国債）
0.870%（＋0.020）

◆短期金利（無担保コール翌日物）
－0.014%

●外　為

◆円下落、151円80銭　33年ぶり円安水準目前　週明け13日の東京外国為替市場の円相場は対ドルで下落し、一時1ドル＝151円80銭を付けた。1990年以来、約33年ぶりの円安ドル高水準となった昨年10月21日の1ドル＝151円94銭が目前となった。景気を下支えしようと金融緩和策を続ける日銀と、インフレ抑制のため政策金利を引き上げた米連邦準備制度理事会（FRB）の方向性の違いは依然大きく、日米の金利差を意識した円売りドル買いが進んだ。今年の最安値だった先月31日の1ドル＝151円74銭を下回り、約1年1カ月ぶりの円安ドル高水準。市場では、低金利の円を高金利のドルに換えて運用する流れが続いている。

かぶと町だより

▽東エレクが買われ、年初来高値を更新した。2024年3月期の連結業績予想を前週末の10日に発表し、純利益を従来よりも引き上げたことが好感された。23年9月中間決算で、業績が会社予想を上回る結果となったことを反映した。SMBC日興証券は10日付のリポートで「中国市場の強さが想定以上に寄与している」と分析した。

◆金貨売買相場◆

	出来値	前日比
メイプル（1オンス）		
小売価格	3451657円	▼2613
買取価格	3148907円	▼2410
ウイーン（1／10オンス）		
小売価格	37257円	▼282
買取価格	31258円	▼239

商　況

東京市況（大田／東一調べ）＝単位：円

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	1265	1265
ニンジン（千・10キロ）	2160	1728
ゴボウ（青・4キロ）	3240	3024
レンコン（茨・4キロ）	2160	1404
ハクサイ（茨・15キロ）	864	756
キャベツ（千・10キロ）	1404	1296
ホウレン草（群・0.2キロ）	108	86
ネギ（秋田・5キロ）	—	2700
セロリ（長野・10キロ）	3240	2700
レタス（静・10キロ）	1620	—
キュウリ（群・5キロ）	2484	1836
ナス（高・5キロ）	2484	1836
トマト（熊本・4キロ）	2484	2300
ピーマン（茨・0.15キロ）	45	—
サヤエンドウ（鹿・1キロ）	—	1404
サツマイモ（千・5キロ）	1944	1728
シャガイモ（北・10キロ）	1728	432
サトイモ（埼・10キロ）	5400	3780
ナガイモ（青・10キロ）	7344	7128
タマネギ（北・20キロ）	4590	4104
生シイタケ（岩・0.1キロ）	—	130
エノキタケ（長野・0.1キロ）	59	49
カブ（千・1キロ）	151	130
コマツナ（埼・0.5キロ）	194	86
小ネギ（福岡・0.1キロ）	130	108
ニラ（栃・0.1キロ）	108	—
アスパラ（メキシコ・0.1キロ）	151	151
ミニトマト（愛知・0.2キロ）	194	130
シシトウ（高・0.1キロ）	270	162
オクラ（沖縄・0.1キロ）	86	—
サヤインゲン（長崎・2キロ）	1728	1620
ニンニク（青・1キロ）	2052	—
根ショウガ（高・4キロ）	2819	2819
ナメコ（山形・0.1キロ）	76	38
シメジ（長野・0.1キロ）	—	65
マイタケ（新潟・0.1キロ）	140	130

枝肉【東京】小安い（1キロ＝円）

和牛	メス	去勢	交雑種	メス	去勢
A5	3327	A5 2455	A5 1835	A5 —	—
A4	2704	A4 2203	A4 —	A4 —	—
A3	1929	A3 1838	A3 1550	A3 1739	—
A2	—	A2 1720	A2 1391	A2 —	—
A1	—	A1 —	A1 —	A1 —	—
B5	3417	B5 —	B5 —	B5 —	—
B4	1991	B4 —	B4 1672	B4 1582	—
B3	1835	B3 1810	B3 1504	B3 1481	—
B2	—	B2 —	B2 1230	B2 1291	—
B1	—	B1 —	B1 —	B1 —	—

豚		高値	安値	加重平均
豚	極上	645	503	545
	上	637	478	504
	中	552	464	492
	並	832	443	492
	等外	853	400	529
		牛	豚	
上場頭数		410頭	865頭	

【さいたま枝肉】もちあい（単位キロ当たり）

豚		高値	安値	加重平均
豚	極上	—	—	—
	上	521	497	503
	中	523	475	495
	並	489	400	460
	等外	553	316	534
牛				
馬				

	豚	牛	馬
上場頭数	176	—	—
処理頭数	—	—	—
預り頭数	—	—	—

【川口】受信なし

豚		高値	安値	加重平均	処理頭数
豚	極上	—	—	—	—
	上	—	—	—	—
	中	—	—	—	—
	並	—	—	—	—
	等外	—	—	—	—
上場		—	処理		—

生花（㈱埼玉園芸市場調べ）

	高値	中値
白大菊	102	60
黄大菊	80	60
スプレイ菊	75	40
小菊	53	25
赤カーネーション	45	20
ピンクカーネーション	60	30
スプレイカーネーション	60	35
赤バラ	200	100
ピンクバラ	150	80
白バラ	120	70
スプレイバラ	180	100
デッポウユリ	80	50
スカシユリ	70	50
オリエンタル系ユリ	480	170
カトレア	350	250
デンファレ	70	50
シンビジューム	—	—
トルコ桔梗	270	150
サンダーソニア	—	—
グラジオラス	70	60
カラー	—	—
アルストロ	170	120
スターチス	60	30
スターチスＨＢ	—	—
ガーベラ	100	50
デルフィニウム	—	—
クロリオサ	200	160
宿根カスミソウ	200	100
ソリダコ・ソリダスター	40	15
ロベレニー	20	10
レザーファン	20	15

鶏卵（1キロ＝円）

【全農】

		高値	安値
	LL	283	253
	L	279	249
	M	279	249
大玉安	MS	279	249
	S	253	223
	SS	198	168

【入間】 360

【東洋】

		高値	安値
	LL	283	252
	L	278	246
	M	278	246
大玉安	MS	280	248
	S	253	223
	SS	197	167
	特殊	276	131

川口青果市場つま物市況（川口中央青果市場調べ）

	高値	中値
キノメ（埼・1箱）	324	216
ボウフウ（埼・1束）	—	—
アサツキ（埼・1箱）	—	—
わけねぎ（埼・30束）	4320	—
エダマメ（埼・1箱）	—	—

浦和市況（浦和中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ピーマン（茨・4キロ）	—	1512
トマト（熊・4キロ）	—	2376
キュウリ（埼・5キロ）	—	1566
レタス（茨・10キロ）	—	1620
ゴボウ（青・4キロ）	—	1080
ニンジン（千・10キロ）	—	1836
ホウレン草（埼・0.3キロ）	86	76
コマツナ（埼・0.3キロ）	86	54
カンショ（茨・5キロ）	1836	1404
チンゲンサイ（茨・2キロ）	864	648
ニラ（茨・0.1キロ）	86	65
ネギ（形・5キロ）	—	2160
ナス（高・0.4キロ）	162	—
生シイタケ（島・0.1キロ）	162	130
エノキタケ（新潟・0.2キロ）	65	54
シメジ（長野・0.1キロ）	76	—
キャベツ（千・10キロ）	1296	—
タマネギ（北・20キロ）	—	4320
バレイショ（北・10キロ）	—	1836
ハクサイ（長野・15キロ）	1188	972
◇果実◇		
リンゴ（青・10キロ）	—	4860
ミカン（媛・10キロ）	—	3240
イチゴ（栃・0.26キロ）	—	594
バナナ（フィリピン・13キロ）	—	2700

熊谷市況（熊谷青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（埼・10キロ）	756	—
ニンジン（埼・10キロ）	2160	—
ハクサイ（茨・15キロ）	1512	—
ミズナ（埼・0.2キロ）	—	—
コマツナ（埼・0.25キロ）	—	—
キャベツ（茨・10キロ）	1512	—
ホウレン草（埼・0.25キロ）	—	—
ネギ（埼・5キロ）	—	3240
ニラ（群・0.1キロ）	108	76
レタス（茨・10キロ）	1944	—
キュウリ（埼・5キロ）	2268	1620
ナス（高・0.4キロ）	—	—
トマト（熊・4キロ）	—	2376
ピーマン（茨・0.15キロ）	—	54
カンショ（茨・5キロ）	1728	—
バレイショ（北・10キロ）	—	1620
サトイモ（埼・10キロ）	4860	—
タマネギ（北・20キロ）	—	4320
生シイタケ（各地・0.1キロ）	162	—
エノキタケ（各地・0.2キロ）	86	—
◇果実◇		
ミカン（媛・10キロ）	—	—
カキ（和・7.5キロ富有）	—	—
リンゴ（青・10キロ早生ふじ）	—	—
バナナ（フィリピン・13キロ）	—	3240

上尾市況（埼玉中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10キロ）	1080	—
ニンジン（青・10キロ）	2160	—
ゴボウ（青・4キロ）	—	—
キャベツ（千・10キロ）	1296	—
ネギ（新潟・5キロ）	3240	—
ニラ（栃・0.1キロ）	108	—
キュウリ（埼・5キロ）	2160	—
ナス（高・5キロ）	2160	—
トマト（熊・4キロ）	3024	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	86	—
カンショ（茨・5キロ）	1728	—
ヤマトイモ（千・4キロ）	6480	—
バレイショ（北・10キロ）	2160	—
タマネギ（北・20キロ）	4968	—
生シイタケ（埼・0.1キロ）	179	—
エノキタケ（長野・0.1キロ）	65	—
レタス（茨・10キロ）	1404	1080
ホウレン草（埼・0.3キロ）	—	—
コマツナ（埼・0.3キロ）	—	—
ハクサイ（茨・15キロ）	1080	—
◇果実◇		
メロン（静・8キロアールス）	—	—
デコポン（媛・10キロ）	—	—
リンゴ（青・10キロふじ）	—	—
バナナ（フィリピン・12キロ）	—	—

大宮市況（大宮中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	—	—
カブ（埼・1キロ）	—	140
ゴボウ（青・4キロ）	—	—
レンコン（茨・4キロ）	—	1890
コマツナ（埼・0.2キロ）	—	32
キャベツ（千・10キロ）	—	1296
ホウレン草（群・0.2キロ）	—	—
ネギ（形・5キロ）	—	—
ミツバ（茨・1キロ）	—	432
ニラ（茨・4キロ）	—	2808
セロリ（長野・10キロ）	—	—
レタス（茨・10キロ）	—	1512
キュウリ（埼・5キロ）	—	—
ナス（高・12キロ）	—	—
トマト（熊・4キロ）	—	2700
カンショ（茨・5キロ）	—	—
タマネギ（北・20キロ）	—	—
生シイタケ（秋・0.1キロ）	—	162
ナメコ（形・0.1キロ）	65	—
エノキタケ（長野・0.2キロ）	—	92
シメジ（長野・0.1キロ）	—	—
マイタケ（新潟・0.1キロ）	—	130
◇果実◇		
レモン（チリ・17キロ）	—	—
バナナ（フィリピン・13キロ）	—	—

春日部市況（さいたま春日部市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	—	864
ハクサイ（茨・13キロ）	—	648
ニラ（茨・0.1キロ）	—	86
コマツナ（埼・0.2キロ）	76	—
キャベツ（千・10キロ）	1188	—
ホウレン草（群・0.2キロ）	108	—
ナス（高・0.4キロ）	162	—
シュンギク（埼・0.2キロ）	—	—
トマト（熊・4キロ）	2700	—
キュウリ（埼・5キロ）	1944	—
ゴボウ（茨・4キロ）	—	—
ネギ（群・5キロ）	—	—
レンコン（茨・4キロ）	1836	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	—	—
カボチャ（北・10キロ）	—	—
バレイショ（北・10キロ）	1728	—
タマネギ（北・20キロ）	4536	—
ニンジン（千・10キロ）	2160	1944
エノキタケ（長野・0.2キロ）	86	81
◇果実◇		
ミカン（静・10キロ）	2700	2376
カキ（埼・4キロ次郎）	1080	864
リンゴ（青・10キロサンふじ）	6264	5724
メロン（茨・9キロアールス）	5400	4860
バナナ（フィリピン・13キロ）	3780	—

川口市況（川口中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	1080	—
カブ（埼・0.8キロ）	—	86
ニンジン（埼・10キロ）	2160	—
ハクサイ（茨・12キロ）	1080	—
コマツナ（埼・0.4キロ）	43	—
キャベツ（愛知・10キロ）	1620	—
ネギ（各地・5キロ）	1404	—
ニラ（茨・0.1キロ）	108	81
レンコン（茨・4キロ）	1512	1404
レタス（各地・8キロ）	1620	—
ピーマン（各地・0.15キロ）	97	—
チンゲンサイ（各地・2キロ）	864	594
キュウリ（千・5キロ）	1836	1620
トマト（熊・4キロ）	2484	—
カンショ（千・5キロ）	1944	—
バレイショ（北・10キロ）	1944	—
タマネギ（北・20キロ）	5346	—
サトイモ（埼・10キロ）	3240	—
エノキタケ（各地・0.2キロ）	86	—
生シイタケ（各地・0.1キロ）	183	—
◇果実◇		
ミカン（各地・10キロ）	4104	3240
リンゴ（各地・10キロふじ）	5940	3888
カキ（各地・10キロ富有）	5724	3780
バナナ（フィリピン・12キロ）	3996	3240

川越市況（東京新宿青果川越調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	972	—
ニンジン（各地・10キロ）	2160	1620
ハクサイ（群・13キロ）	864	—
コマツナ（各地・0.3キロ）	86	76
キャベツ（各地・10キロ）	1296	—
ホウレン草（埼・0.3キロ）	86	76
ネギ（各地・5キロ）	2916	—
ブロッコリー（埼・6キロ）	2700	2484
レタス（栃・8キロ）	—	1728
チンゲンサイ（埼・0.2キロ）	76	65
キュウリ（各地・5キロ）	1944	1620
ナス（高・5キロ）	2160	1944
トマト（各地・4キロ）	3456	2700
ピーマン（茨・0.15キロ）	97	92
バレイショ（北・10キロ）	—	2484
タマネギ（北・20キロ）	4752	3888
生シイタケ（各地・0.1キロ）	205	162
◇果実◇		
ミカン（各地・10キロ）	4536	3348
リンゴ（青・10キロふじ）	6480	4320
ナシ（各地・10キロ）	—	—
カキ（岐・10キロ富有）	—	—
イチゴ（栃・0.26キロ）	702	—
メロン（高・8.5キロアールス）	11664	—
バナナ（フィリピン・13キロ）	3780	3240

秩父市況（秩父総合食品卸売市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	1296	—
ニンジン（埼・10キロ）	—	—
レンコン（茨・4キロ）	2160	—
ハクサイ（長野・15キロ）	—	—
ミズナ（埼・0.2キロ）	—	—
キャベツ（茨・10キロ）	—	—
ホウレン草（群・0.2キロ）	—	—
ネギ（形・5キロ）	—	—
ニラ（群・0.1キロ）	—	—
ブロッコリー（埼・4キロ）	—	—
レタス（茨・10キロ）	1944	—
キュウリ（埼・5キロ）	1728	—
ナス（埼・0.4キロ）	—	—
トマト（福島・4キロ）	—	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	130	—
カンショ（千・5キロ）	—	—
バレイショ（北・10キロ）	2160	—
タマネギ（北・20キロ）	4860	—
生シイタケ（各地・0.1キロ）	130	—
エノキタケ（各地・0.2キロ）	—	—
◇果実◇		
ミカン（和・10キロ）	—	—
カキ（和・7.5キロ富有）	—	—
リンゴ（青・10キロサンふじ）	—	—
バナナ（フィリピン・13キロ）	—	—

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161 FAX 048・653・9040
✉keizai@saitama-np.co.jp